



# I 策定にあたって

## 1 札幌水道長期構想の策定趣旨

札幌市は、これまで、右肩上がりの社会経済情勢の中、7期にわたる拡張事業と、それに続く4次にわたる施設整備事業により、長期的な見通しのもと、水源の確保や保全をはじめ、浄水場や配水管など水道施設の拡張整備や維持管理を適切に行い、安全・安定給水に努める一方、常に事業の効率化を図り、健全財政を保ちながら事業運営を行ってきました。

しかしながら、社会経済的要因による水需要の変化、安全性やおいしさに対する利用者の関心の高まり、規制緩和の進展、地球規模での環境問題の顕在化、地方分権・協働型社会への意識の高まりなど、近年の水道事業を取り巻く状況は大きく変化してきています。

加えて、経済情勢の先行きも安定的とはいえず、財政運営は一段と厳しさを増していくものと考えられます。

このように社会環境が大きく変化する中、市民生活と都市活動に欠かすことのできないライフライン<sup>1</sup>として、札幌市の水道事業（以下「札幌水道」という。）が安全で良質な水を安定して供給していくためには、事業運営の方向性を見定めるための長期的な事業構想を持つことが必要です。

また、水道事業は公共性が強い事業であるため、運営のあり方について利用者の理解を得ることは不可欠であり、このため、事業の長期的な方向性を打ち出すことは、利用者との協力関係を深めるためにも必要です。

以上の趣旨をもって、このたび札幌水道長期構想（以下「長期構想」と略す。）を策定しました。

## 2 札幌水道長期構想の位置づけ

長期構想は、概ね四半世紀にわたる札幌水道の運営に関する長期的な方向性と施策推進の基本的な考え方を掲げたものです。

また、長期構想に基づく個々の事業の実施に当たっては、財政的な検討を加えた中期計画を策定し、さらに年度計画（毎年度の予算執行）の中で、その効果的で着実な進行管理を行っていきます。

なお、今後、水道事業を取り巻く環境に変化が生じた場合には、適宜、長期構想の見直しを行います。

<sup>1</sup>ライフライン 生活や生命を維持するために必要な電気・ガス・水道などの供給システム。